

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科 博士後期課程特別早期修了制度申請案内

— 令和8年2月入学者選抜試験志願者用 —

1 制度の概要

既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年（3年未満）で修了し、課程博士の学位を取得できる制度です。

入学者選抜試験出願前に審査を行い、優れた業績を上げた者と認められた場合、入学者選抜試験に合格することで入学後に制度の適用を受けることができます。

2 申請要件

- (1) 社会人特別選抜（2月実施試験）の出願資格を有し、同選抜試験に出願予定であること。
- (2) 入学時前に、入学後の研究課題に関連した学位取得条件である以下の業績を有する者であること。

提出する博士学位論文に関連する原著論文が2件以上（いずれもトップオーサー）あること。対象となる論文は、英語又は日本語で作成されたものとし、査読付き専門誌に発表されたものに限る。なお、受理済みの論文も可とする。

3 制度の適用が認められた場合の学修について

以下の単位の修得を修了要件とします。

種類	系名等	授業科目	単位
専門科目	研究・演習科目	生物資源科学演習Ⅰ	2
		生物資源科学特別研究（博士）	10
修了に必要な単位数の合計			12

4 学位取得までのながれ

	日程	必要な手続き等
入学前	11月25日～ 12月1日	入学資格審査（該当者のみ） 特別早期修了制度申請 ※入学資格審査の該当者については、学生募集要項で確認してください
	1月19日まで	入学資格審査結果通知
	1月25日まで	特別早期修了制度適用可否通知
	1月26日～2月2日	2月実施試験出願期間
	2月28日	試験実施
	3月6日	合格発表
	3月13日まで	入学手続き
入学後※	4月	入学
	12月～1月	学位論文予備審査
	1月	審査用学位論文提出
	2月中旬	学位論文審査会
	3月	修了・学位授与

※1年で学位を取得する場合

5 論文審査について

博士学位論文の審査にあたっては、本審査に先立ち、予備審査を受け、合格する必要があります。

【 予備審査願提出要件 】

「生物資源科学特別研究（博士）」（博士論文）の単位を除き、他に修了に必要な単位を修得済であること。または、修得の見込みがあること。

※制度の適用が認められた場合、業績については、入学前の審査で認められた原著論文（2件以上、いずれもトップオーサー）をもって代えるものとする。

【 論文審査スケジュール 】

サイクル	予備審査願 提出	予備審査結果 承認	本審査願提出	本審査結果 承認	学位授与
I	1 1 月	1 月	1 月	3 月	3 月
II	6 月	7 月	8 月	9 月	9 月

6 申請手続き等について

特別早期修了制度の適用を希望する方は、以下の書類を提出することにより審査を受けることができます。

申請にあたっては、本研究科博士後期課程学生募集要項を参照の上、必ず志望指導教員に問い合わせてください。また、提出書類の内容について十分にご相談ください。

【 提出書類 】

- (1) 特別早期修了制度申請書
- (2) 履歴書
- (3) 業績一覧
※学術論文のうち、博士学位論文に関する原著論文及びトップオーサーの論文については写しをご提出ください。
- (4) 業績レポート
- (5) 博士学位論文の構想

【 各書類の詳細 】

- (1) 特別早期修了制度申請書
 - ① 業務内容と志望分野の関係欄には、最終学歴における専門分野および職歴における業務内容と志望分野との関係について簡単に記入してください。
 - ② 申請理由欄には、博士号取得を希望する動機と特別早期修了を希望する理由を記入してください。
- (2) 履歴書
 - ① 年月日はすべて西暦で記入してください。
 - ② 「本籍又は国籍」欄には、日本国籍の場合は都道府県名を、外国籍の場合は国名を記入してください。
 - ③ 「連絡先」欄には、現住所以外の連絡先がある場合に記入してください。記入がある場合には、本学からの連絡は連絡先に行います。
 - ④ 「学歴」欄について
 - (a) 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を、すべて記入してください。

- (b) 本研究科以外で博士の学位を取得している場合には、その年月と授与された機関を明記してください。
- ⑤ 「職歴」欄には、現在の職を含め職歴のすべてを記入し、職名、役職等も記入してください。期間を明記してください。
- ※ 「学歴」欄、「職歴」欄等は、A4判1枚に記入しきれない場合は、適宜欄を調整するか、別紙に記載してください。（2枚以上になっても構いません。）

(3) 業績一覧

- ① 記入は、学術論文（査読付き）、総説、国際会議発表論文（査読付き）、著書、特許、その他に区分し、それぞれ年月順（西暦を用い、現在から過去に遡る）に、学術論文・研究報告・特許等の名称、発行又は発表年月、発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称、共著者名又は共同発表者名、概要を記入してください。なお、提出する博士学位論文に関連する業績である場合は、【関連業績】と明記してください。
- ② 学術論文の発表雑誌については、名称の他に、巻、号、頁を記入してください。概要の記入にあたっては、次の点に留意してください。トップオーサーで掲載予定の学術論文の場合は、掲載予定であることが確認できる書類の写しを添付してください。
- (a) 著書、学術論文等の概要について、各著書・学術論文等ごとに簡潔に記入してください。
- (b) 共著の場合は、担当部分及び頁数を明記し、また、本人の氏名を含め著者全員の氏名を、当該著書・学術論文等に記載された順に記入してください。
- ③ 特許等については、次のような職務上の実績を記入してください。
- (例) ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
・取得した特許等の概要
・大学との共同研究による研究実績がある場合その概要、成果、申請者本人の役割
- ④ その他については、作品、受賞等について記入してください。
- ※ 記入欄が不足する場合は、適宜欄を調整するか、追加してください。（3枚以上になっても構いません。）
- ⑤ 博士学位論文に関する原著論文の写しも併せてご提出ください。

(4) 業績レポート

- ① 「研究計画と博士学位論文に関する過去の職務内容の関連」欄には、過去の職務内容と、今後の研究計画（博士学位論文含む）および業績一覧で挙げた論文等との関係について記入してください。（2枚以上になっても構いません。）
- ② 「これまでの研究業績・職務経験等を基にした学力・研究能力」については、以下を参考に記入してください。（2枚以上になっても構いません。）
- (a) 専門基礎
博士論文の研究について、直接必要となる分野としてどのような能力・知識が必要であるか具体的に説明し、それらをどのように修得してきたか、また、それらが研究テーマ遂行に充分であることを主張してください。関係する発表論文があれば説明に含めてください。
- (b) 関連分野基礎
研究分野を支える関連的な分野について、どのような知識・能力が必要であると認識しているか、及び修得した経緯やそのレベルについて記述してください。さらに、これから必要である、もしくは修得したいと考えている関連分野の知識・能力があれば、記述してください。
- (c) 現実問題に対する分析力
現実の問題に対し、自ら取り組んだ研究・開発は、社会貢献や学問発展の上でどのように位置付けられるか説明してください。
- (d) 広い視野
社会人としての業務・研究活動の経験のなかで、i) 現場の技術者・研究者との議論に支障のない広範囲な知識・教養 ii) 異種の研究分野と自分の研究分野を円滑に関連づけられる知識・能力（広い視野）を有していることについて例を挙げ

て説明してください。また、視野を広げるための努力について記述してください。併せて、博士論文のテーマに関して、社会貢献や学問発展の上でどのように位置付けられるか説明してください。

(e) 問題設定から解決まで

今までの研究・開発の業務経験において、問題の設定から解決までの具体例を紹介してください。失敗あるいは試行錯誤の経験も含め、関係者との討議を通して研究を進展させた経験などを記述してください。

(f) プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力

国内外を含めた、学会での発表経験（種類・回数）、講演会での発表経験や講習会での指導経験、海外研究者との交流経験、ボランティア経験、マネジメント的立場での指導経験など、国内外でのプレゼンテーション及びコミュニケーション経験・能力について記述してください。また、これらの能力向上のために行ったことや、TOEIC、TOEFLなどの受験経験や外国語論文の執筆状況、留学経験、海外への長期渡航経験などがあれば記述してください。

(g) 学術的成果

これまでに発表した論文について、研究の新規性、結果のインパクトを説明し、関連分野の論文発表への貢献があれば具体的に記述してください。また、論文発表への貢献度や、今現在の研究に対する貢献度等を具体的に記述してください。

(5) 博士学位論文の構想

- ① A 4 判 2 枚以上で作成してください。（課題や関連分野の調査を含む）
- ② 業績一覧で挙げた論文等の内容に基づいて、学位論文執筆の構想について記述してください。
- ③ 上記の学位論文の構想に基づいて、学位論文を執筆するにあたり、課題として残されていることがあれば記述してください。
- ④ 博士学位論文の研究テーマの背景や関連分野について記述してください。

【 申請受付期間 】

令和 7 年 1 1 月 2 5 日（火）～令和 7 年 1 2 月 1 日（月）午後 5 時必着

7 審査について

書類審査では、これまでの研究業績・職務経験等を基に、一定の研究実績や能力を有し、3 年未満で学位を取得できるレベルであるか否かを総合的に判断します。

なお、場合によっては面接審査を行うことがあります。面接審査を行う場合には別途連絡します。

【審査結果】

制度適用の可否については、令和 8 年 1 月 2 5 日（日）までに本人あてに通知します。

8 その他

特別早期修了制度の適用が適当でないと判断された場合、課程修了のためには 3 年の在学期間が必要となります。この場合、修了に必要な単位は 1 6 単位となります。ただし、在学中に優れた業績を挙げたと認められた場合には、早期修了制度の適用を受けることにより、3 年未満での修了が可能となる場合があります。

提出先・問い合わせ先

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438

秋田県立大学 秋田キャンパス事務局教務チーム

☎ 018-872-1529

✉ akyomu@akita-pu.ac.jp

対応時間：月～金曜日 9：00～17：00（土・日・祝日及び年末年始は除く）

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

様式第 1 号（第 2 条関係）

特 別 早 期 修 了 制 度 申 請 書

年 月 日

生物資源科学研究科長 様

氏名 _____ 印

下記のとおり特別早期修了制度の適用を希望しますので申請します。

記

志望専攻名	
志望分野	
志望指導教員	
最終学歴における専門分野	
業務内容と志望分野の関係	
申請理由	

履 歴 書

氏 名			国籍		
生年月日 (年齢)	年 月 日 (現在満 歳)				
連絡先			現住所		
電話番号			電話番号		
fax番号			fax番号		
E-mail			E-mail		
年 月	学 歴				
年 月	職 歴				
年 月	学会及び社会における活動等				
年 月	賞 罰				

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名

印

業 績 一 覧

年 月 日

氏 名

1 学術論文（査読付き）

学術論文、研究報告、 特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発行所、発表雑誌、 発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名、概要）
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		

2 総説

学術論文、研究報告、 特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発行所、発表雑誌、 発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名、概要）
	年 月 日		

3 国際会議発表論文（査読付き）

学術論文、研究報告、 特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発行所、発表雑誌、 発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名、概要）
	年 月 日		

4 著書

学術論文、研究報告、 特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発行所、発表雑誌、 発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名、概要）
	年 月 日		

5 特許

学術論文、研究報告、 特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発行所、発表雑誌、 発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名、概要）
	年 月 日		

6 その他

学術論文、研究報告、 特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発行所、発表雑誌、 発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名、概要）
	年 月 日		

（注意事項）

- ・研究業績については、博士学位論文に関する原著論文が2件以上（いずれもトップオーサー）あることが条件となります。対象となる論文は、英語又は日本語で作成されたものとし、査読付き専門誌に発表されたものに限ります。なお、受理済みの論文も可とします。
- ・博士学位論文に関する原著論文の写しも併せてご提出ください。

業績レポート

年 月 日

氏 名

職 歴	勤 務 期 間	勤 務 先	主 な 職 務 内 容

1 研究計画と博士学位論文に関する過去の職務内容の関連

2 これまでの研究業績・職務経験等を基にした学力・研究能力

項目	自己評価
(a) 専門基礎 希望する専門分野について博士の学位にふさわしいレベルの基礎能力を有しているか	
(b) 関連分野基礎 専門に関連した分野について、専門分野ほど深くはないとしても、博士の学位にふさわしいレベルの基礎能力を有しているか	
(c) 現実問題に対する分析力 現実の問題について、博士の学位にふさわしいレベルの見識を備えているか	
(d) 広い視野 博士の学位にふさわしい視野の広さを有しているか	
(e) 問題設定から解決まで 専門的応用能力である問題設定から解決までのプロセスを理解し、具体的解決に導くことができるか	
(f) プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力 博士の学位にふさわしいプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有しているか	
(g) 学術的成果 博士の学位を授与してよいと判定できる学術的成果を有しているか	

博士学位論文の構想

志望研究 グループ		志望指導 教 員		氏 名	
--------------	--	-------------	--	-----	--